

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-30900

(P2006-30900A)

(43) 公開日 平成18年2月2日(2006.2.2)

(51) Int.Cl.		F I		テーマコード (参考)
G02B 23/24	(2006.01)	G02B 23/24	A	2H040
A61B 1/00	(2006.01)	A61B 1/00	300B	4C061

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 17 頁)

(21) 出願番号 特願2004-213437 (P2004-213437)
 (22) 出願日 平成16年7月21日 (2004.7.21)

(71) 出願人 000000376
 オリンパス株式会社
 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号
 (74) 代理人 100076233
 弁理士 伊藤 進
 (72) 発明者 三宅 清士
 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オ
 リンパス株式会社内
 (72) 発明者 木村 聖二
 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オ
 リンパス株式会社内
 (72) 発明者 藤川 真司
 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オ
 リンパス株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 内視鏡装置

(57) 【要約】

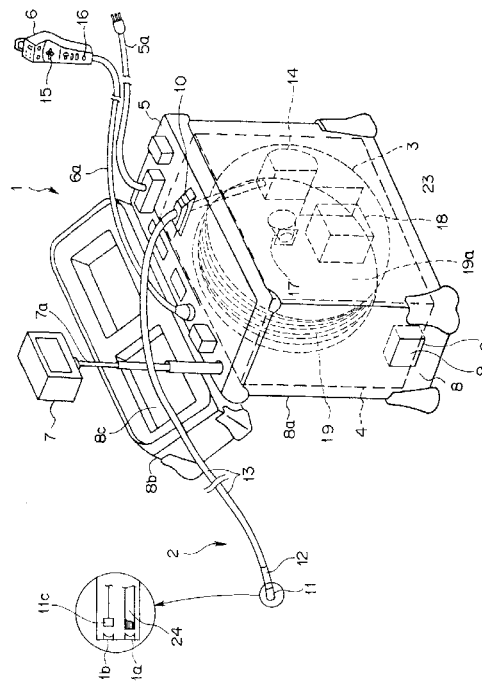
【課題】

装置本体内の各種機器等の動作不良及び悪臭の原因となる異物を収納ケース内から容易に除去できる内視鏡装置の提供。

【解決手段】

本発明の内視鏡装置は、挿入部を巻回収納するドラム部が回転自在に装置本体内に収納されている収納ケースを有する内視鏡装置であって、前記装置本体へ付着及び沈着した異物を装置外部へ排出する排出手段を有する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

挿入部を巻回収納するドラム部が回動自在に装置本体内に収納されている内視鏡装置であって、

前記装置本体内に蓄積する異物を前記装置本体外部へ排出する排出手段を有することを特徴とする内視鏡装置。

【請求項 2】

前記排出手段は、前記装置本体に設けられる開口部であることを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡装置。

【請求項 3】

前記装置本体に設けられ、前記異物を前記開口部から風圧によって排出する送風手段を具備することを特徴とする請求項 2 に記載の内視鏡装置。

【請求項 4】

前記送風手段は、前記装置本体に対して着脱自在であることを特徴とする請求項 3 に記載の内視鏡装置。

【請求項 5】

内部に蓄積する異物を前記開口部から流液によって排出するために、前記装置本体内に前記流液を注入する流液注入手段を具備することを特徴とする請求項 2 に記載の内視鏡装置。

【請求項 6】

前記装置本体内に設けられ、前記送風手段の風圧によって、前記異物を前記開口部から排出し易くするために、前記異物を乾燥固化させる乾燥手段を具備することを特徴とする請求項 3 又は請求項 4 に記載の内視鏡装置。

【請求項 7】

前記開口部近傍の前記装置本体内に設けられ、前記異物を前記開口部に送り出すための吸引手段を具備することを特徴とする請求項 2 から請求項 6 のいずれかに記載の内視鏡装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、内視鏡挿入部を装置内部に収納できる内視鏡装置に関する。

【背景技術】

【0002】

近年、医療分野及び工業分野において、細長い内視鏡挿入部を有する内視鏡装置が広く使用されている。医療分野において用いられる内視鏡は、細長い挿入部を体腔内に挿入することによって、体腔内の臓器を観察したり、必要に応じて処置具の挿通チャンネル内に挿入した処置具を用いて各種処置をしたりすることができる。また、工業用分野において用いられる内視鏡は、細長い挿入部を各種工場内のボイラー、ガスタービンエンジン、自動車エンジンのボディ及び各種プラントの配管等に挿入することによって、被検部位の傷及び腐蝕等の観察、並びに検査等を行うことができる。

【0003】

工業用内視鏡装置は、例えば、特開 2001-330783 号公報に開示されるように、収納ケースを有し、内視鏡の挿入部が収納ケース内の回動自在なドラムに巻回され、使用される各場所へ容易に移動及び運搬されるものがある。この工業用内視鏡装置は、使用時に収納ケース内から内視鏡挿入部が引き出されて観察部位まで挿入される。また、内視鏡挿入部の先端には、湾曲部及び先端部が設けられている。ユーザは、挿入部を配管等に挿入する際及び観察部位に到達時に、内視鏡内に挿通された湾曲部から延出する操作ワイヤ等の牽引部材を内視鏡の操作部の所定操作により牽引弛緩させる。こうして、ユーザは、湾曲部を湾曲させ、先端部内に配設された観察光学系の対物レンズの観察方向を変更さ

10

20

30

40

50

せ、観察部位まで挿入部先端部を到達させ各種検査を行う。また、ユーザは、使用後にハンドル部を所定方向に回転してドラム部を連動させ、内視鏡挿入部をドラム部へ巻き取って収納ケース内に収納する。

【0004】

上述したように、工業用内視鏡装置は、砂、鉄粉、油、埃、汚れ等の異物が散乱している各種工場内、各種プラント内等で使用される。工業用内視鏡装置は、内視鏡挿入部を収納ケース内のドラム部に巻き取り、収納するため、挿入部に異物が付着及び沈着して収納ケース内、すなわち装置本体内に入り込む虞がある。そのため、フロントパネル上の挿入部挿通口には、挿入部と略同じ外径の孔部を有する挿入部座屈防止用のゴムブーツが設けられ、このゴムブーツによって挿入部に付着及び沈着した異物が装置本体内に入り込むのを防止している。

10

【特許文献1】特開2001-330783号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、特開2001-330783号公報に記載される内視鏡装置のゴムブーツは、挿入部の収納ケース内からの引き出し及びドラム部への巻き取り時に、その孔部が挿入部の外表面と擦れるため、磨耗劣化し易い。そのため、ユーザは、ゴムブーツによる異物の除去の効率を保つため定期的にゴムブーツを交換する必要がある。

【0006】

20

このゴムブーツ交換は、ユーザに委ねられるものであり、交換時期がきているにも拘らず、そのままの状態で使用され、装置本体内に砂、鉄粉、油、埃、汚れ等の異物が蓄積してしまうとこともあるのが現状である。この装置本体内に異物が蓄積してしまうと、悪臭の原因となる他、ドラム部の回転、各種機構、各種機器等の動作不良の原因となる問題がある。

【0007】

また、一度、装置本体内に蓄積した異物を取り除くためには、ドラム部を装置内から取り出して洗浄などする必要がある。しかし、装置本体内のドラム部の周辺に複雑な機構及び各種機器が多数、設けられているため、一般のユーザにとっては、ドラム部を装置内から取り出すことが困難である。そのため、ユーザは、異物の除去のための洗浄又は内視鏡装置の各種機構、各種機器等の動作不良のために、製造会社にメンテナンスを依頼しなければならない。内視鏡装置のメンテナンス期間中、ユーザは、内視鏡装置を使用することができなくなり、内視鏡装置の稼働率が下がるという問題がある。

30

【0008】

本発明は、上記問題に鑑みて成されたものであり、装置本体内の各種機器等の動作不良及び悪臭の原因となる異物を収納ケース内から容易に除去することにより、稼働率の低下を軽減できる内視鏡装置を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0009】

本発明の内視鏡装置は、挿入部を巻回収納するドラム部が回転自在に装置本体内に収納されている収納ケースを有する内視鏡装置であって、前記装置本体内部へ付着及び沈着した異物を装置外部へ排出する排出手段を有する。

40

【発明の効果】

【0010】

本発明によれば、装置本体内の各種機器等の動作不良及び悪臭の原因となる異物を収納ケース内から容易に除去することにより、稼働率の低下を軽減できる内視鏡装置を実現することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0011】

(第1の実施の形態)

50

以下、図面に基づいて本発明の第1実施形態の内視鏡装置について説明する。

図1及び図2は、内視鏡装置の全体構成図、図3は内視鏡装置の内部構成を示す図、図4はドラム部の内部に配設される各種機器を説明するための断面図、図5は内視鏡装置の内部を説明するための部分断面図、図6はドラム部を回動保持するベアリング部を説明するための図、図7はスリップリング周辺の機構を説明するための図、図8は内視鏡装置の排出手段を説明するための部分断面図である。

【0012】

図1に示すように内視鏡装置1は、可撓性を有する細長な内視鏡挿入部2と、この内視鏡挿入部2を巻回するドラム部3と、このドラム部3を回動自在な状態に保持するフレーム部4と、このフレーム部4の上端に設けられ、各種スイッチ、コネクタ類、ACケーブル5a等を備えたフロントパネル5と、このフロントパネル5にケーブル6aを介して着脱自在に接続されるリモコン(リモートコントローラ)6と、フロントパネル5に取り付けられた伸縮式のポール7aに対して回動自在に支持されたモニター7と、ケース本体を形成する箱体8aと蓋体8bとからなる収納ケース8と、を備えて構成されている。内視鏡挿入部2は、先端側に設けた後述の湾曲部が湾曲自在に湾曲動作される。また、フレーム部4の内部には、各種機器に電源を供給する図示しない電源部が配設される。

10

【0013】

蓋体8bには、前記ポール7aから取り外したモニター7を収納するモニター収納配置部8cが形成されており、このモニター収納配置部8cにモニター7を収納することによって安定した状態に収納を行える。

20

【0014】

内視鏡挿入部2は、前記フロントパネル5に設けられた座屈防止用の挿入部パッキン部10から延出している。また、内視鏡挿入部2は、先端側から順に硬質の先端部本体11、この先端部本体11を所望の方向に向ける湾曲自在な湾曲部12、細長で柔軟性を有する可撓管部13を連設している。

先端部本体11には、内視鏡挿入部2を挿通配設する後述のライトガイド24の先端側が固定保持されており、このライトガイド24から伝達される照明光により被検部位を照明するための照明光学系11a、この照明光学系11aにより照明された被検部位の反射光を被写体像として取り込む対物光学系11bと、この対物光学系11bにより取り込まれた被写体像を撮像するCCD(撮像素子)等を有する撮像ユニット11c等の部材が設けられている。なお、内視鏡挿入部2の先端部本体11には、視野方向、視野角等の光学特性を変換する図示しない各種光学アダプタを着脱自在に取り付け可能である。また、内視鏡挿入部2の基端側には、後述するようにドラム部3と着脱自在に構成されるコネクタ部14が連設されている。

30

リモコン6には、湾曲部12を湾曲動作させるために操作指示入力するジョイスティックやトラックボール等の湾曲操作入力部15及び後述のCCU(Camera Control Unit)に対するリリース等の操作指示入力する画像ボタンや電源ボタン等の各種スイッチ16が設けられている。

【0015】

図2に示すように、箱体8aの内部には、上端が開口している箱型のドラム収納フレーム部4aが配設されている。このドラム収納フレーム部4aは、内部空間4Aを有し、ドラム部3を回動自在に内部空間4A内に収納している。ドラム収納フレーム部4aの開口部は、フロントパネル5によって封止されている。

40

【0016】

また、箱体8a及び後述するドラム収納フレーム部4aは、一側面の下部に排出手段である少なくとも1つの排出口9aを有している。この排出口9aは、通常において、着脱自在な栓体9によって密栓されている。

図3に示すように内視鏡装置1の一側面には、回動自在な回転板47が配設されている。この回転板47の外側面には、中心から所定の距離だけ離れた位置に、内視鏡挿入部2を巻き取り操作するための可倒式のハンドル部56が固定されている。すなわち、回転板

50

４７は、ユーザによってハンドル部５６が把持され、回動される。そして、回転板４７の所定方向の回動に合わせてドラム部３が連動されることによって、内視鏡挿入部２はドラム部３の外周面部１９へ巻回収納される。

また、フレーム部４は、前述のドラム収納フレーム部４ａ及び排気フレーム部４ｂから構成される。このドラム収納フレーム部４ａと排気フレーム部４ｂは、箱体８ａの内部において、夫々の一側面が対向するように並設されている。排気フレーム部４ｂは、上面に後述する排気部２０が配設されている。なお、ドラム収納フレーム部４ａと排気フレーム部４ｂの間には、衝撃を緩和する為の図示しない緩衝材が設けられている。

【００１７】

ドラム部３は、内視鏡挿入部２を巻回する筒状部材により形成される外周面部１９と、この外周面部１９の両側の開口を覆う２つの側部１９ａと有して形成されている。これら外周面部１９及び２つの側部１９ａによって形成されたドラム部３の空間部の内部には、図４に示すように、内視鏡挿入部２に照明光を供給する光源部１７、内視鏡挿入部２の先端部本体１１に設けた撮像ユニット１１ｃに対する信号処理を行うＣＣＵ１８及び内視鏡挿入部２の湾曲部１２の湾曲操作を制御する電動湾曲回路部２３等が収納されている。

【００１８】

なお、光源部１７は、内視鏡挿入部２のライトガイド２４と接続されており、ＣＣＵは、内視鏡挿入部２の通信線２ａと接続されている。また、ＣＣＵ１８は、ドラム部３の一方の側部１９ａの中心に配設され、ドラム部３が回動しても電氣的な接続を維持するスリップリング２６ともハーネスケーブル２６ａによって接続されている。このスリップリング２６は、電動湾曲回路部２３ともハーネスケーブル２６ｂによって接続されている。電動湾曲回路部２３は、コネクタ部１４とも電気ケーブル１４ａによって接続されている。また、ドラム部３には、内視鏡挿入部２の基端側に連設され、ドラム部３と着脱自在に構成されるコネクタ部１４が配設されている。

【００１９】

これらコネクタ部１４、光源部１７、ＣＣＵ１８及び電動湾曲回路部２３には、スリップリング２６及び各ケーブル２ａ、１４ａ、２３ａ、２３ｂを介して図示しない前述の電源部から電源が供給されるようになっている。なお、この電源部は、フレーム部４内に設けているが、ドラム部３の空間部に設けても良い。

【００２０】

図５に示すように、ドラム部３の一方の側部１９ａには、衝撃を緩和する為の複数の緩衝材５０が前記ドラム部３の側部１９ａの中心から所定の距離だけ離れた円周上に略等間隔の位置に固設されている。この緩衝材５０は、板５１に固定されている。この板５１の中心には、軸５２が固定されている。この軸５２の外周には、軸受５３と、一方の回転方向のみに回転力を伝達するクラッチの機能を持つワンウェイクラッチ５４とが嵌合されており、軸受５３とワンウェイクラッチ５４の外輪はハウジング５５に圧入保持されている。このハウジング５５には、前述の回転板４７が固定されている。また、ワンウェイクラッチ５４は、回転板４７を挿入部巻き取り方向に回動させた時に軸５２と噛み合うようにハウジング５５に圧入されている。

【００２１】

フロントパネル５は、ドラム収納フレーム部４ａに対応する位置に吸気口５ｂと、排気フレーム部４ｂに対応する位置に排気口を有する排気部２０を有している。この排気部２０と接続され、装置本体内の冷却を担う排気手段であるシロッコファン２１が排気フレーム部４ｂ内に配設されている。また、ドラム部３の両方の側部１９ａ、ドラム収納フレーム部４ａ及び排気フレーム部４ｂは、夫々の一部分に開口部を有し、それらの開口部には空気のみを通過させるポーラスを有するゴアシート２２（ゴアテックス社製）が各開口部分を塞ぐように取り付けられている。従って、シロッコファン２１は、その駆動によって、装置外部の空気を吸気口５ｂからドラム収納フレーム部４ａ内及び各ゴアシート２２を介して、排気フレーム部４ｂ内へ吸引し、排気部２０から排出して、特に光源部１７によって高温となる装置内部の冷却を行う。また、ドラム部３の回転板４７側の側部１９ａと

10

20

30

40

50

対向するドラム収納フレーム部 4 a の内側面には、ドラム部 3 が回転しても、ドラム収納フレーム部 4 a 内と回転板 4 7 側とを気密に保持する O リング 1 8 が配設されている。なお、排気フレーム部 4 b 内には、図示しないが、各種内視鏡情報、各種設定情報等が記録されている記録ユニット等の基板類が配設されている。

【 0 0 2 2 】

図 6 に示すように、ドラム部 3 の回転板 4 7 が取り付けられる側面と反対側の側面には、ドラム部 3 を回転させる為の軸受であって、V 字状の周溝を有する複数のベアリング部 4 8 がドラム部 3 中心から所定の距離だけ離れた位置に等間隔に固設されている。これらベアリング部 4 8 の周溝に係合する爪部を有する円環状のリング 4 9 が排気フレーム部 4 b のドラム収納フレーム部 4 a と対向する側面に固定されており、排気フレーム部 4 b 10 に対してドラム部 3 を回転自在に保持している。

次に、図 5 の破線円 A に示すスリップリング 2 6 の周辺の構成について図 7 に基づいて説明する。

ドラム部 3 のスリップリング 2 6 が配設される側の側部 9 a は、ドラム収納フレーム部 4 a と対向する面にスリップリング 2 6 から所定の距離だけ離れた位置に周溝 3 0 と、この周溝 3 0 に配設される O リング 3 1 を有している。また、ドラム収納フレーム部 4 a は、O リング 3 1 と対応する位置に周溝 3 2 を有し、各周溝 3 0、3 2 に係設される O リング 3 1 の部分において側部 9 a と気密状態が保たれている。

【 0 0 2 3 】

上記側部 9 a は、中心に円環状の筒部 3 4 を有し、この筒部 3 4 にスリップリング 2 6 20 が挿着固定されている。筒部 3 4 の外周には、ベアリング部 3 3 が配設され、このベアリング部 3 3 によって側部 9 a とドラム収納フレーム部 4 a、すなわちドラム部 3 とドラム収納フレーム部 4 a が回転自在となっている。なお、ドラム収納フレーム部 4 a と排気フレーム部 4 b との間には、前述の衝撃を緩和する為の緩衝材 3 5 が挟設されている。

【 0 0 2 4 】

図 8 に示すように、排出口 9 a は、装置外部とドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A 内とを連通する貫通孔である。すなわち、排出口 9 a は、箱体 8 a、緩衝材 3 5 及びドラム収納フレーム部 4 a を箱体 8 a の外側面から内部空間 4 A まで貫通している貫通孔である。この排出口 9 a には、排出口 9 a と略同じ形状に形成された栓体 9 によって密栓されている。図 8 においては、栓体 9 が排出口 9 a から離脱された状態である。なお、この 30 栓体 9 は、ヒンジ等の機構により排出口 9 a を開閉するようにしても良い。また、栓体 9 は、排出口 9 a に着脱し易いように取っ手等の部材を設けても良い。

【 0 0 2 5 】

以上のように構成された内視鏡装置 1 の作用について図 9 ~ 図 1 1 を参照しながら説明する。

内視鏡装置 1 は、内視鏡検査終了に内視鏡挿入部 2 を装置内、すなわちドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A 内へ収納するためドラム部 3 の外周面部 1 9 に巻き取られる。通常においては、内視鏡挿入部 2 の外周面に付着及び沈着した液体（油等）、粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物が挿入部パッキン部 1 0 によって削ぎ落とされながら、内視鏡挿入部 2 は、ドラム部 3 の外周面部 1 9 に巻回収納される。すなわち、内視鏡挿入部 2 に付着 40 及び沈着する異物は、挿入部パッキン部 1 0 によってドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A へ入り込むことが防止される。

【 0 0 2 6 】

しかし、挿入部パッキン部 1 0 が内視鏡挿入部 2 の外周面との摺動等によって磨耗した状態で内視鏡挿入部 2 がドラム部 3 の外周面部 1 9 に巻き取られた場合、内視鏡挿入部 2 の外周面に付着及び沈着した異物は、ドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A 内に入り込んでしまう。この挿入部パッキン部 1 0 が磨耗したままの状態の内視鏡検査の為に内視鏡挿入部 2 の装置内への出し入れが行われ続けると、図 9 及び図 1 0 に示すように、ドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A 内に異物が蓄積される。

【 0 0 2 7 】

このとき、ユーザは、栓体 9 を排出口 9 a から取り外す。そして、図 1 1 に示すように、ユーザは、内視鏡装置 1 を排出口 9 a が下方となるように傾けて、内部空間 4 A 内の異物を排出する。なお、ユーザは、一回の内視鏡検査毎に、栓体 9 を排出口 9 a から取り外し、ドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A 内に異物が入り込んでいないか確認し、異物が蓄積されていれば、上述のように排出除去することが好ましい。

【0028】

以上の結果、ユーザは、製造会社にメンテナンスを依頼せずとも、栓体 9 を排出口 9 a から取り外すだけで、装置本体内に蓄積された液体（油等）、粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物を容易に装置本体外へ排出除去することができる。

従って、本実施形態の内視鏡装置 1 は、異物の蓄積により懸念される悪臭及びドラム部の回動、各種機構、各種機器等の動作不良を予防でき、且つ、製造会社でのメンテナンス期間による稼働率の低下を防止することができる。

【0029】

（第 2 の実施の形態）

以下、図面に基づいて本発明の第 2 実施形態の内視鏡装置について説明する。なお、第 1 実施形態において、既に記述した内視鏡装置と同じ構成要素については、同じ符号を付して説明を省略し、異なる構成、作用、効果のみを主に説明する。

図 1 2 及び図 1 3 は、内視鏡装置を示す全体構成図、図 1 4 は内視鏡装置に設置される送風機を説明するための斜視図、図 1 5 は内視鏡装置に送風機が設置された状態の断面図である。

【0030】

図 1 2 に示すように、本実施形態の内視鏡装置 1 A のフロントパネル 5 には、開閉自在な蓋である第 1、第 2 パネル蓋 4 2, 4 3 を有している。第 1 パネル蓋 4 2 には取っ手 4 2 b が設けられている。この取っ手 4 2 b が掴まれ、パネル蓋 4 2 が開けられるとドラム部 3 が図 1 3 に示すように露出されるようになっている。また、第 1 パネル蓋 4 3 も第 2 パネル蓋 4 2 同様に図 1 4 に示すように開けることができる。

【0031】

内視鏡挿入部 2 は、フロントパネル 5 に設けられた座屈防止用の挿入部パッキン部 1 0 から延出している。この挿入部パッキン部 1 0 は、第 1 パネル蓋 4 2 側に設けられたゴム片 1 0 a と、第 2 パネル蓋 4 3 側に設けられたゴム片 1 0 b との 2 つの部材からなり、これらゴム片 1 0 a, 1 0 b は、それぞれ溝部 1 0 c が形成されている。第 1 パネル蓋 4 2 が閉じた状態のときに、これらゴム片 1 0 a, 1 0 b は、夫々が合わさって挿入部パッキン部 1 0 が形成され、2 つの溝部 1 0 c も夫々に合わさり、内視鏡挿入部 2 の挿通する貫通部が形成される。

【0032】

通常、内視鏡装置 1 A は、図 1 に示すように、フロントパネル 5 の各パネル蓋 4 2, 4 3 は閉じられている。例えば、上述のドラム部 3 の内部の各種機器の保守及び消耗品の交換などのため、図 1 3 及び図 1 4 に示すように、収納ケース 8 に開口部 8 d が現れるように、フロントパネル 5 の各パネル蓋 4 2、4 3 は、開けられる。

【0033】

また、内視鏡装置 1 A は、開口部 8 d に取り付けられる別体の送風手段である送風機 4 0 を有している。すなわち、送風機 4 0 は、内視鏡装置 1 A に対して着脱可能である。この送風機 4 0 は、長手方向の長さが開口部 8 d の開口面の長手方向の長さと略同じ長さを有している略直方体形状をしており、本実施形態においては、2 つの送風ファン 4 1 と、短手方向の両側面に夫々凸部 4 0 a とを有している。これらの送風ファン 4 1 は、送風機 4 0 内に配設される図示しないバッテリー部から電源が供給される。なお、これらの送風ファン 4 1 への電源供給は、内視鏡装置 1 A の電源部から供給されるようにしても良く、電源コードによって直接にコンセントから供給されるようにしても良い。

【0034】

以上のように構成された内視鏡装置 1 A の作用について説明する。

図 16 に示すように、第 1 実施形態と同様にドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A 内には、液体（油等）、粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物が蓄積される。また、ドラム部 3 の外周面部 19 及びこの外周面部 19 に巻回収納されている挿入部にも異物が付着及び沈着することがある。

【0035】

このとき、ユーザは、排出口 9 a から栓体 9 を取り外して、図 14 に示すように、各パネル蓋 42, 43 を開けて、フロントパネル 5 に現れた開口部 8 d に送風機 40 を設置する。この開口部 8 d に設置された送風機 40 は、図 15 に示すように、2 つの凸部 40 a がフロントパネル 5 及び各パネル蓋 42, 43 の開口端の一部分と当接することによって内部空間 4 A に入り込まないように係止される。次に、ユーザは、送風機 40 を駆動する。すると、装置外部の空気は、送風機 40 の駆動によってドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A 内へ流れ込み、排出口 9 a から排出される。

10

【0036】

このとき、内部空間 4 A 内、外周面部 19 及び内視鏡挿入部 2 に付着及び沈着した、特に粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物は、送風機 40 の風圧によって吹き飛ばされ、排出口 9 a から装置外部へと排出される。なお、内部空間 4 A の底部に粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物が残留した場合、第 1 実施形態と同様にして、ユーザは、内視鏡装置 1 A を排出口 9 a が下方となるように傾けて（図 11 参照）、粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物を排出する。

【0037】

以上の結果、フロントパネル 5 に開閉するパネル蓋 42、43 を有する内視鏡装置 1 A においては、パネル蓋 42、43 の開放により現れる開口部 8 d に送風機 40 を設置、駆動することによって、装置外部の空気がドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A 内を通過して排出口 9 a から排出される流れが形成される。従って、第 1 実施形態の効果に加え、内部空間 4 A 内、外周面部 19 及び内視鏡挿入部 2 に付着及び沈着した粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物が効率良く排出除去される。

20

【0038】

また、図 17 に示すように、フロントパネル 5 は、開閉自在なパネル蓋 44 を有し、このパネル蓋 44 を開けることによって送風機 40 が設置される開口部 8 e を形成しても良い。このパネル蓋 44 は、挿入部パッキン部 10 が設けられておらず、送風機 40 を開口部 8 e に設置した状態でもドラム部 3 を回動することによって内視鏡挿入部 2 を収納できる。すなわち、ユーザは、ドラム部 3 を回動して内視鏡挿入部 2 をドラム部 3 に巻き取りながら、送風機 40 を駆動することができる。従って、内視鏡挿入部 2 に付着及び沈着する粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物の殆どが内視鏡挿入部 2 がドラム部 3 へ巻回される前に送風機 40 の風圧によって吹き飛ばされる。また、ドラム部 3 の回動に伴って、外周面部 19 の全体が直接的に送風機 40 からの送風を受けるため、外周面部 19 及び内視鏡挿入部 2 に付着及び沈着する異物が満遍なく吹き飛ばされる。

30

【0039】

なお、ユーザは、図 18 に示すように、送風機 40 の代わりにエアガン 46 を使って、内部空間 4 A 内、外周面部 19 及び内視鏡挿入部 2 に付着及び沈着した異物を吹き飛ばして排出口 9 a から排出除去しても良い。

40

【0040】

（第 3 の実施の形態）

以下、図面に基づいて本発明の第 3 実施形態の内視鏡装置について説明する。なお、第 1、第 2 実施形態において、既に記述した内視鏡装置と同じ構成要素については、同じ符号を付して説明を省略し、異なる構成、作用、効果のみを主に説明する。

図 19 は、本実施形態の内視鏡装置及び注液タンクを説明するための部分断面図である。

【0041】

図 19 に示すように、内視鏡装置 1 に吸気口 5 b（図 5 参照）には、別体の流液注入手

50

段である注液タンク 6 0 の注入口と接続されるコネクタ部 6 4 が配設されている。この注液タンク 6 0 内には、水又は洗浄液などの液体（油等）、が貯溜されている。

第 1 実施形態に記述したように、ドラム部 3 の側部 1 9 a、ドラム収納フレーム部 4 a 及び排気フレーム部 4 b には、空気のみを通過させるゴアシート 2 2（図 5 参照）が取り付けられている。また、ドラム部 3 の側部 1 9 a とドラム収納フレーム部 4 a は、リング 1 8, 3 1（図 5, 7 参照）によって、気密にされている。つまり、ドラム部 3 とドラム収納フレーム部 4 a によって形成される内部空間 4 A は、気密、すなわち液密が保もたれた空間である。そのため、ドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A にコネクタ部 6 4 から注液タンク 6 0 内の液体（油等）、が注入されたとしても、装置内部の各種機器類が防水されている。

10

【0042】

次に、以上のように構成された内視鏡装置 1 の作用を説明する。

ユーザは、注液タンク 6 0 内の液体を内部空間 4 A 内に注入する。そして、ユーザは、内部空間 4 A 内に液体が貯溜された後、装置自体を揺らしたり、ドラム部 3 を回転したりする。なお、ユーザは、注液タンク 6 0 内の液体を内部空間 4 A 内に注入しながら、ドラム部 3 を回転しても良い。こうして、液体（油等）、粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物が付着及び沈着している内視鏡挿入部 2、ドラム部 3 及び内部空間 4 A 内を水又は洗浄液等の液体によって洗浄が行われる。次に、ユーザは、栓体 9 を排出口 9 a から取り外し、図 2 0 に示すように、内部空間 4 A 内の異物が混合されている液体を排出口 9 a から排出する。なお、ユーザは、この水又は洗浄液等の流体による内部空間 4 A 内の洗浄を数回に渡って行うことが好ましい。

20

【0043】

以上の結果、ドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A、ドラム部 3 及び内視鏡挿入部 2 を水又は洗浄液等の液体によって丸洗いできるため、付着及び沈着及び蓄積する液体（油等）、粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物に対する洗浄効率及び排出効率が向上する。

【0044】

なお、第 2 実施形態にて記載したフロントパネル 5 にパネル蓋 4 2、4 3 を有する内視鏡装置 1 A の場合は、図 2 1 に示すように、パネル蓋 4 2、4 3 を開けて、開口部 5 d から水道ホース 6 3 等からの水道水により、液体（油等）、（油等）、粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物が付着及び沈着する内部空間 4 A、ドラム部 3 及び内視鏡挿入部 2 を洗浄しても良い。また、ユーザは、洗剤、洗浄液等を併用して、内部空間 4 A、ドラム部 3 及び内視鏡挿入部 2 を洗浄しても良い。

30

【0045】

（第 4 の実施の形態）

以下、図面に基づいて本発明の第 4 実施形態の内視鏡装置について説明する。なお、第 1、第 2 及び第 3 実施形態において、既に記述した内視鏡装置と同じ構成要素については、同じ符号を付して説明を省略し、異なる構成、作用、効果のみを主に説明する。

図 2 2 は、本実施形態の内視鏡装置を説明するための部分断面図である。

【0046】

図 2 2 に示すように、フロントパネル 5 は、複数の、本実施形態では 2 つの吸気口 7 1 を有している。これら吸気口 7 1 近傍のドラム収納フレーム部 4 a 内には、周囲温度を上昇させる乾燥手段である複数の、本実施形態では 2 つの乾燥ランプ 7 2 が配設されている。また、ドラム収納フレーム部 4 a 内の 2 つの乾燥ランプ 7 2 の下部側には、乾燥ランプ 7 2 によって加温された空気を送風する吸引手段である吸気ファン 7 3 が夫々配設されている。さらに、ドラム収納フレーム部 4 a 内の排出口 9 a 近傍には、排気ファン 7 4 が配設されている。

40

【0047】

装置外部の空気は、吸気口 7 1 からドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A 内に、各吸気ファン 7 2 の駆動によって送り込まれる。この空気は、各乾燥ランプ 7 2 によって加温され、各吸気ファン 7 3 によって内部空間 4 A 内を温風として循環する。この温風がド

50

ラム収納フレーム部 4 a の内壁、ドラム部 3 及び内視鏡挿入部 2 にあたることによって、内視鏡挿入部 2、ドラム部 3 及びドラム収納フレーム部 4 a の内壁に付着及び沈着した粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物が風乾され、固形状となってドラム収納フレーム部 4 a 内に浮遊する。さらに、排気ファン 7 4 によって強制的に排出口 9 a から排気することで、その浮遊した粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物は装置外部に排出される。

【0048】

以上の結果、複数の乾燥ランプ 7 2 によって加温された空気を複数の吸気ファン 7 3 によってドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A 内を循環乾燥させ、ドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A 内を乾燥させると共に、内視鏡挿入部 2、ドラム部 3 及びドラム収納フレーム部 4 a の内壁に付着及び沈着した粉体（鉄粉、砂、埃等）等の異物を乾燥固化 10

【0049】

また、排出口 9 a は、箱体 8 a の底面下側に開口するように設けても良く、ドラム収納フレーム部 4 a、箱体 8 a の底面を網状に形成、若しくは、複数の開口孔を設けても良い。

さらに、ドラム収納フレーム部 4 a の内部空間 4 A 内に蓄積する異物等の排出を促すために、ドラム収納フレーム部 4 a 及び排出口 9 a の底面に傾斜を設けても良い。

なお、本発明は、以上述べた実施形態のみに限定されるものではなく、発明の要旨を逸 20

【図面の簡単な説明】

【0050】

【図 1】第 1 実施形態の内視鏡装置の全体構成図である。

【図 2】内視鏡装置の全体構成図である。

【図 3】内視鏡装置の内部構成を示す図である。

【図 4】ドラム部に配設される各種機器を説明するための断面図である。

【図 5】内視鏡装置の内部を説明するための断面図である。

【図 6】ドラム部を回転保持するベアリング部を説明するための図である。

【図 7】スリップリング周辺の機構を説明するための図である。

30

【図 8】排出手段を説明するための内視鏡装置の部分断面図である。

【図 9】内視鏡装置の部分断面図である。

【図 10】内視鏡装置の部分断面図である。

【図 11】内視鏡装置の作用を説明するための部分断面図である。

【図 12】第 2 実施形態の内視鏡装置の全体構成図である。

【図 13】内視鏡装置の全体構成図である。

【図 14】内視鏡装置に設置される送風機を説明するための斜視図である。

【図 15】内視鏡装置に送風機が設置された状態の部分断面図である。

【図 16】内視鏡装置の作用を説明するための部分断面図である。

40

【図 17】内視鏡装置に送風機が設置された状態の部分断面図である。

【図 18】エアガンによる内視鏡装置内の異物排出を説明するための部分断面図である。

【図 19】第 3 実施形態の内視鏡装置及び注液タンクを説明するための部分断面図である。

【図 20】内視鏡装置内の液体による洗浄を説明するための部分断面図である。

【図 21】水道ホースを使った内視鏡装置内の洗浄を説明するための部分断面図である。

【図 22】第 4 実施形態の内視鏡装置を説明するための部分断面図である。

【符号の説明】

【0051】

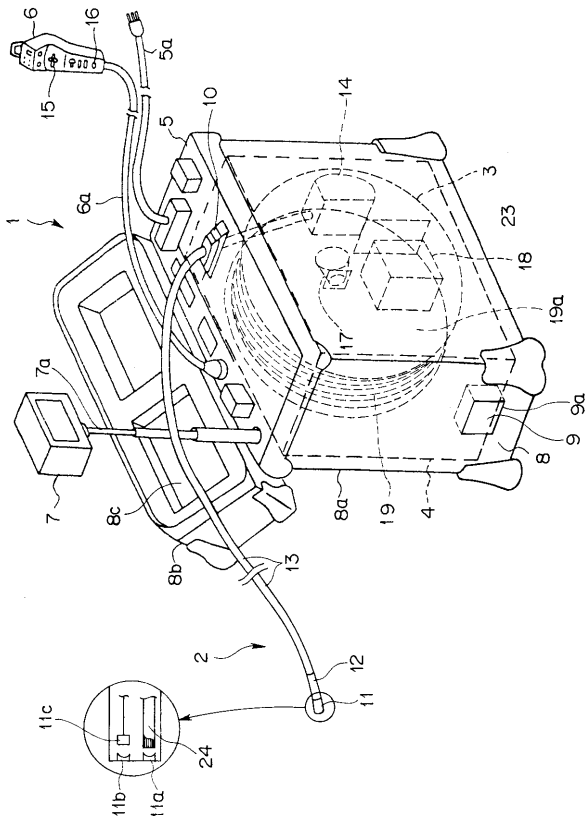
1、1 A・・・内視鏡装置、2・・・内視鏡挿入部、2 a・・・通信線、3・・・ドラム部、4 a・・・ドラム収納フレーム部、4・・・フレーム部、4 A・・・内部空間、4 b 50

・ ・ ・ 排気フレーム部、 5 ・ ・ ・ フロントパネル、 5 b ・ ・ ・ 吸気口、 5 d ・ ・ ・ 開口部
 、 6 a ・ ・ ・ ケーブル、 6 ・ ・ ・ リモコン、 7 a ・ ・ ・ ポール、 7 ・ ・ ・ モニタ、 8 c ・
 ・ ・ ・ モニタ収納配置部、 8 ・ ・ ・ 収納ケース、 8 a ・ ・ ・ 箱体、 8 b ・ ・ ・ 蓋体、 8 d ,
 8 e ・ ・ ・ 開口部、 9 a ・ ・ ・ 側部、 9 a ・ ・ ・ 排出口、 9 ・ ・ ・ 栓体、 10 a
 ・ ・ ・ ゴム片、 10 b ・ ・ ・ ゴム片、 10 ・ ・ ・ 挿入部パッキン部、 10 c ・ ・ ・ 溝部、
 11 ・ ・ ・ 先端部本体、 11 b ・ ・ ・ 対物光学系、 11 c ・ ・ ・ 撮像ユニット、 11 a ・
 ・ ・ ・ 照明光学系、 12 ・ ・ ・ 湾曲部、 13 ・ ・ ・ 可撓管部、 14 ・ ・ ・ コネクタ部、 14
 a ・ ・ ・ 電気ケーブル、 15 ・ ・ ・ 湾曲操作入力部、 16 ・ ・ ・ 各種スイッチ、 17 ・ ・
 ・ 光源部、 18 , 31 ・ ・ ・ Oリング、 19 a ・ ・ ・ 側部、 19 ・ ・ ・ 外周面部、 20 ・
 ・ ・ 排気部、 21 ・ ・ ・ シロッコファン、 22 ・ ・ ・ ゴアシート、 23 ・ ・ ・ 電動湾曲回 10
 路部、 24 ・ ・ ・ ライトガイド、 26 ・ ・ ・ スリップリング、 26 a , 26 b ・ ・ ・ ハー
 ネスケーブル、 30 , 32 ・ ・ ・ 周溝、 33 ・ ・ ・ ベアリング部、 34 ・ ・ ・ 筒部、 35
 ・ ・ ・ 緩衝材、 40 a ・ ・ ・ 凸部、 40 ・ ・ ・ 送風機、 41 ・ ・ ・ 送風ファン、 42 , 4
 3 ・ ・ ・ パネル蓋、 42 b ・ ・ ・ 取っ手、 46 ・ ・ ・ エアガン、 47 ・ ・ ・ 回転板、 48
 ・ ・ ・ ベアリング部、 49 ・ ・ ・ Oリング、 50 ・ ・ ・ 緩衝材、 51 ・ ・ ・ 板、 52 ・ ・
 ・ 軸、 53 ・ ・ ・ 軸受、 54 ・ ・ ・ ワンウェイクラッチ、 55 ・ ・ ・ ハウジング、 56 ・
 ・ ・ ハンドル部、 60 ・ ・ ・ 注液タンク、 63 ・ ・ ・ 水道ホース、 64 ・ ・ ・ コネクタ部
 、 71 ・ ・ ・ 吸気口、 72 ・ ・ ・ 乾燥ランプ、 73 ・ ・ ・ 吸気ファン、 74 ・ ・ ・ 排気フ
 アン

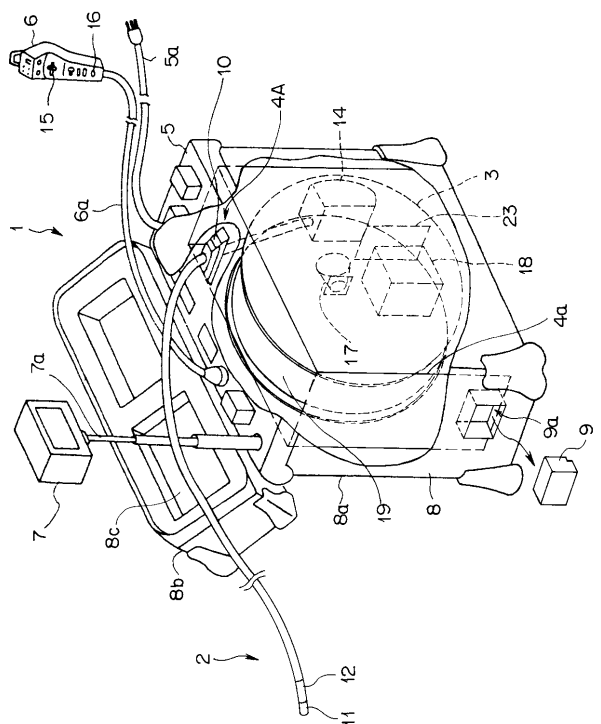
代理人 弁理士 伊藤 進

20

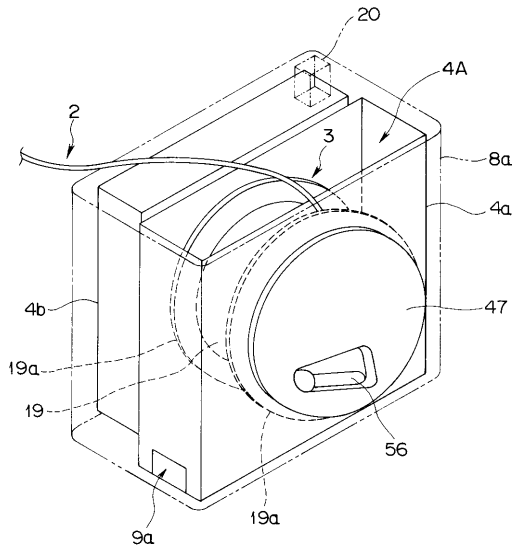
【図 1】



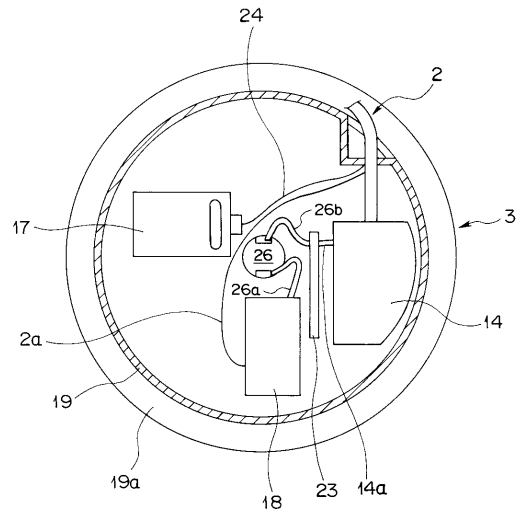
【図 2】



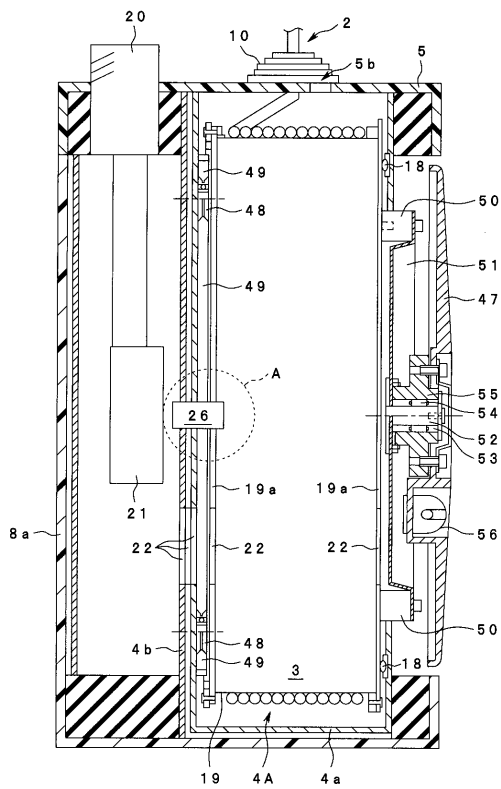
【図 3】



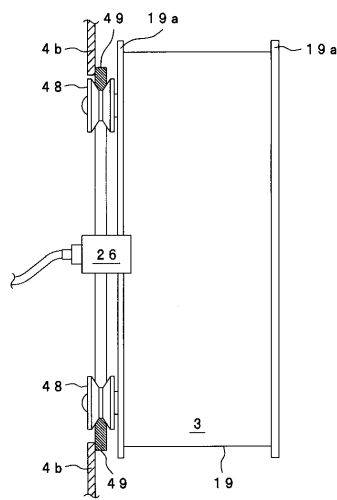
【図 4】



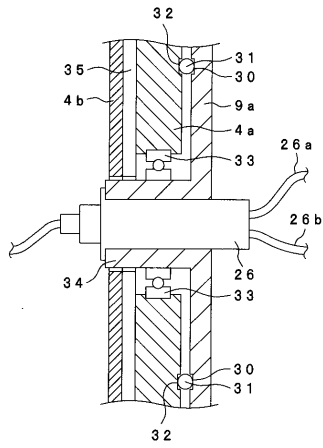
【図 5】



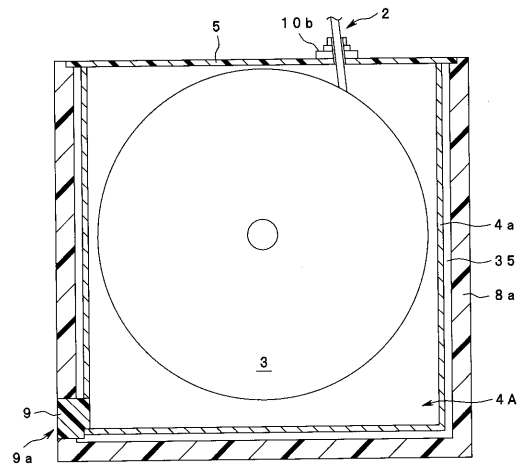
【図 6】



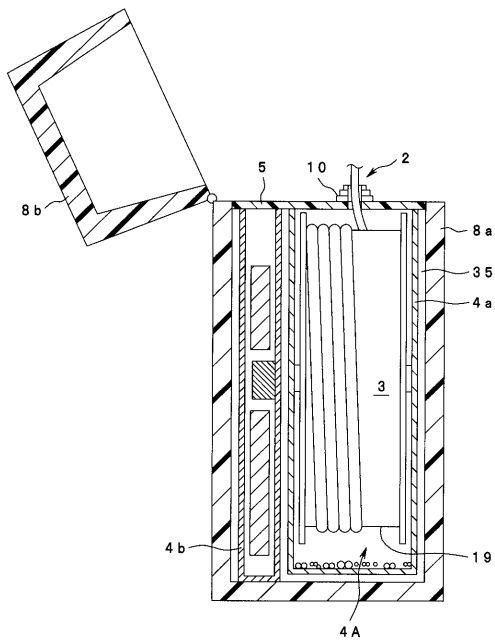
【図 7】



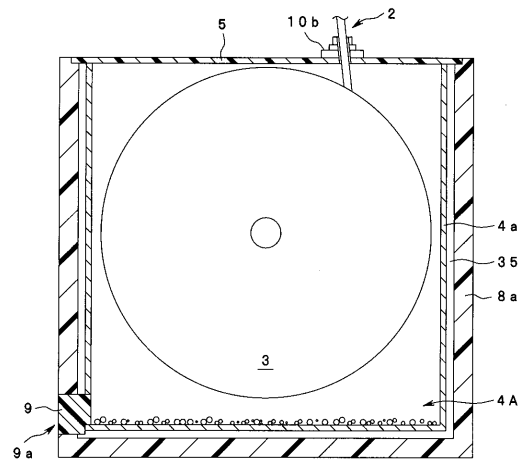
【図 8】



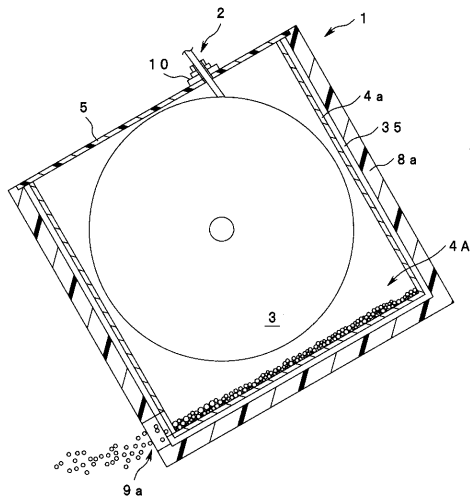
【図 9】



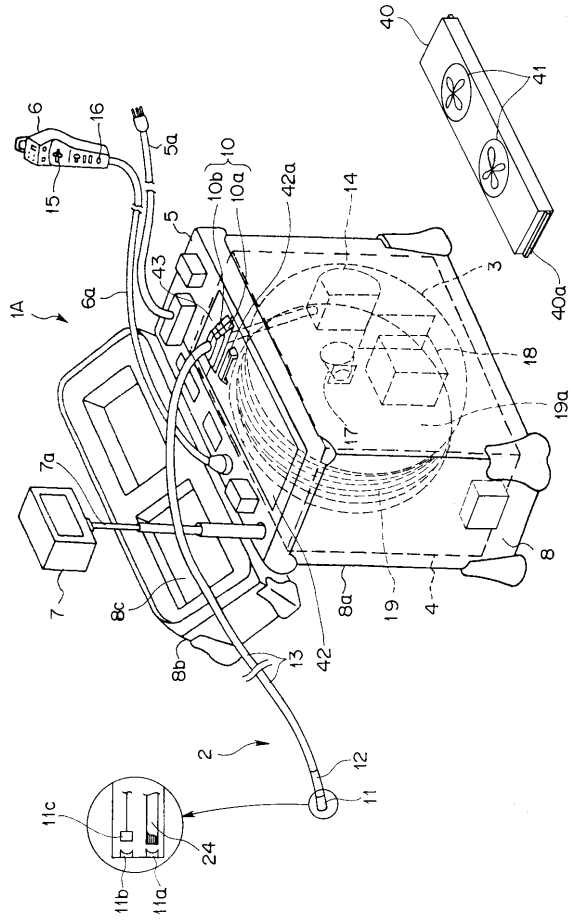
【図 10】



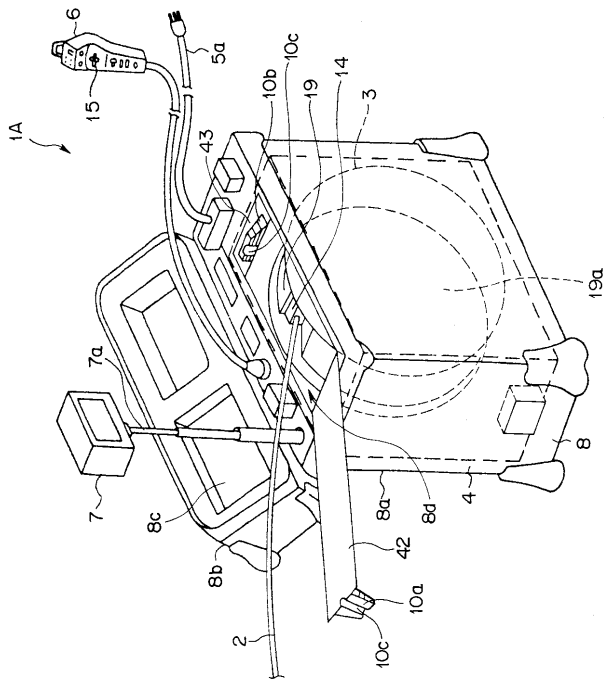
【図 1 1】



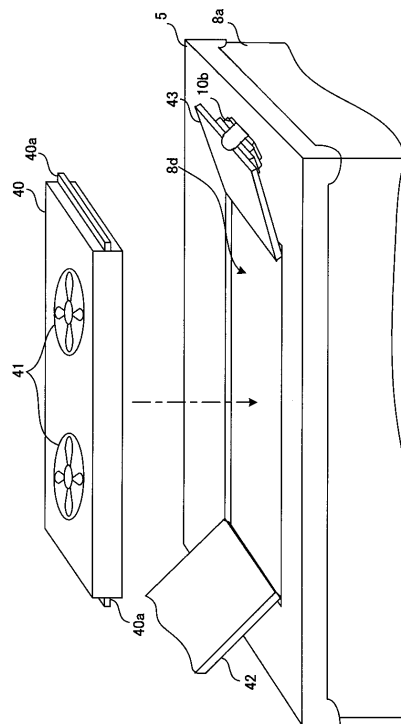
【図 1 2】



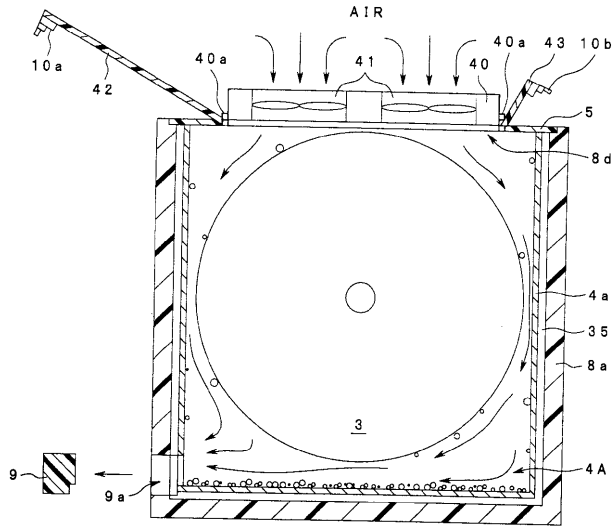
【図 1 3】



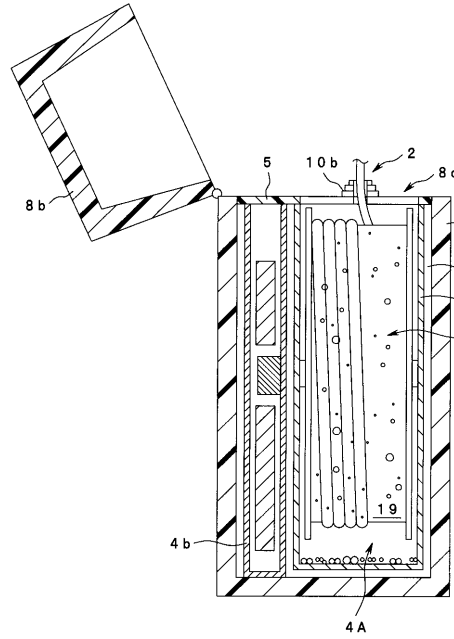
【図 1 4】



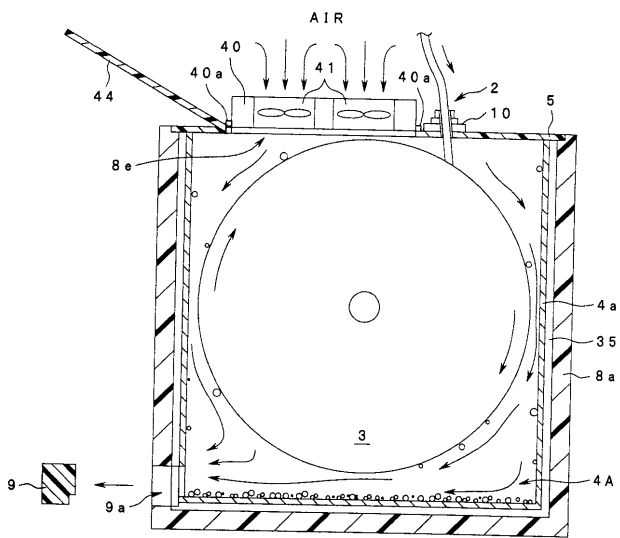
【図 15】



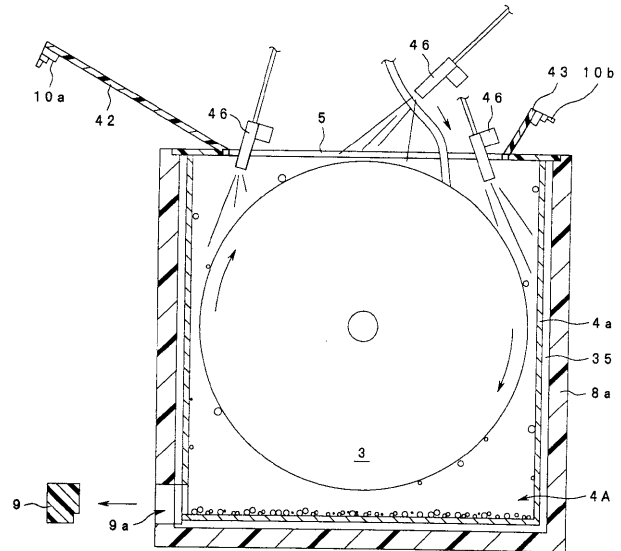
【図 16】



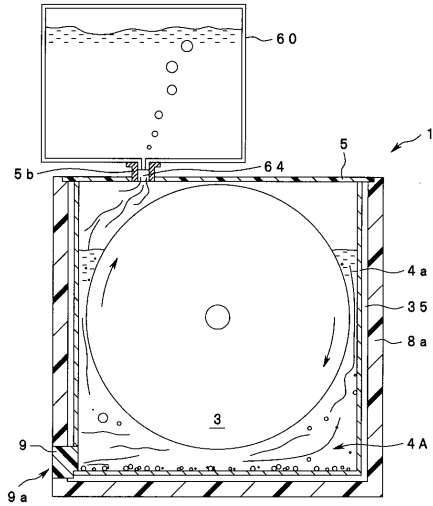
【図 17】



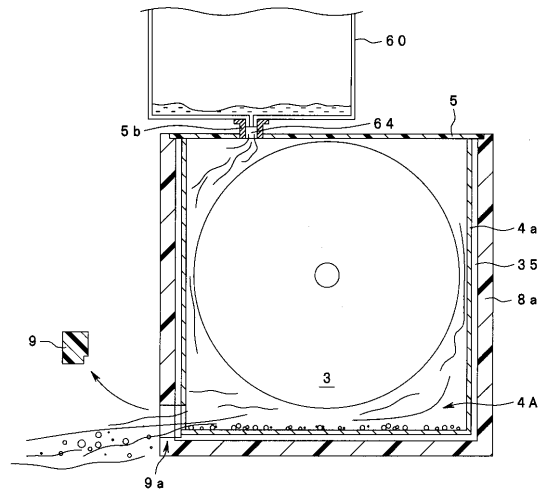
【図 18】



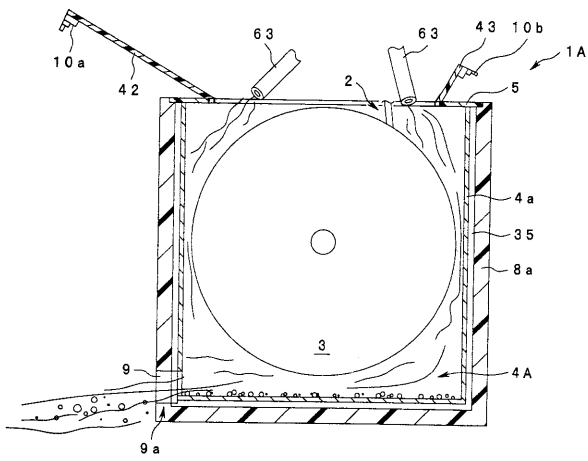
【図 19】



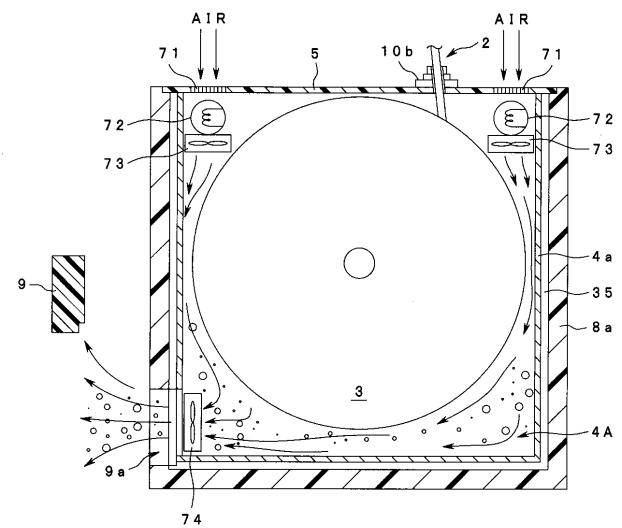
【図 20】



【図 21】



【図 22】



フロントページの続き

(72)発明者 小畑 光男

東京都渋谷区幡ヶ谷 2 丁目 4 3 番 2 号 オリンパス株式会社内

F ターム(参考) 2H040 DA22 DA42 DA51 EA01 EA02

4C061 GG13 JJ06 JJ11

专利名称(译)	内视镜装置		
公开(公告)号	JP2006030900A	公开(公告)日	2006-02-02
申请号	JP2004213437	申请日	2004-07-21
[标]申请(专利权)人(译)	奥林巴斯株式会社		
申请(专利权)人(译)	奥林巴斯公司		
[标]发明人	三宅清士 木村聖二 藤川真司 小畑光男		
发明人	三宅 清士 木村 聖二 藤川 真司 小畑 光男		
IPC分类号	G02B23/24 A61B1/00		
FI分类号	G02B23/24.A A61B1/00.300.B A61B1/00.650 A61B1/00.653		
F-TERM分类号	2H040/DA22 2H040/DA42 2H040/DA51 2H040/EA01 2H040/EA02 4C061/GG13 4C061/JJ06 4C061/JJ11 4C161/GG13 4C161/JJ06 4C161/JJ11		
代理人(译)	伊藤 进		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

亲切代码： 本发明提供一种内窥镜装置，其能够容易地从存储盒内部去除引起装置主体中的各种装置的故障和恶臭的异物。 — 根据本发明的内窥镜装置是具有存储盒的内窥镜装置，其中用于卷绕和存储插入部分的鼓部可旋转地容纳在内窥镜装置的主体中，和排出装置，用于将沉积的异物排出到装置外部。 点域1

